

20年間にわたる市民調査が ありのままの三番瀬を浮き彫りに

市川市沖の力キ礁で行われる三番瀬
市民調査の様子。



の海」という事実をねじまげた質問です。

２００１年、三番瀬の埋め立て計画は正式に撤回されましたが、区域を横切る「第２湾岸道路」計画は残されたままでした。建設推進派は、三番瀬の豊かさを否定するために、繰り返し県議会で「三番瀬はヘドロの海」だと質問しました。そこで結成されたのが「市民調査の会」です。

三番瀬のありのままの姿を調べようと市民が立ち上げ、研究者や専門家などの協力を得て毎年調査を実施してきました。20年にわたる調査の結果、175種もの動物や19種の植物、野鳥40種を確認することができました。アナジャコの巣穴の状況を把握する貴重な調査も実施。2005年には5000㎡ものカキ礁を発見してマスコミでも大きく取り上げられました。

それ以来、市民調査で示された事実の前に、県議会で三番瀬の豊かさを否定する動きはいっさい無くなりました。

12月11日、「三番瀬市民調査の会」の報告会が開かれました。2003年に調査を始めてから、ちょうど20年。きっかけは県議会での「三番瀬はヘドロ

日本共産党習志野台西支部が 北習志野駅ワンコインバス導入を要請

要請する参加者と丸山慎一氏（右）
かなみつ理恵氏（その左）
11月20日 船橋新京成バス本社



12月20日、日本共産党習志野台西支部が船橋新京成バス本社にたいして、北習志野駅を起点にしたワンコイン運賃（100円）の導入を要請しました。北習志野駅発の新京成バスは、

自志野台にたいしコンコイ妻請しまバスは、初乗り180円。一方、津田沼駅発のバスには100円区間が設定されていて安

く乗れます。地域住民から、「北習志野駅でも、100円で乗れるようにしてほしい」との要望が支部に寄せられました。これを受けて地域を対象にアンケートを実施したところ、72%がバスを利用しており、利用目的で一番多かったのは買い物で、通勤、通院と続きます。100円区間ができれば「利用したい」という回答は92%に上りました。今回の要請は、こうした経過を踏まえて行われたものです。

参加者は、「高齢化が進んでおり、バスを使って病院に通っている人も多い」「100円になれば利用する人も増えると思う」「市にも補助金を出してもらうよう働きかけてほしい」などと実

施を求めました。

長津川親水公園の休憩所再開を要望 日本共産党本町支部

要請する参加者と丸山慎一前県議
(左) 松崎さち市議 (その右)。
11月29日・県葛南土木事務所



12月9日、日本共産党本町支部と中央支部が、長期にわたって閉鎖されている長津川親水公園の休憩所の再開などで千葉県葛南土木事

務所に要請しました。長津川親水公園の休憩所は3ヵ所ありますが、土台が不安定になっているため2ヵ所が閉鎖されており、「早く直して再開してほしい」と要請しました。

担当者は、「再開する方向で考えているが、大きな予算が必要で、撤去した方がいいという意見もある」「いろんな意見を聞きたい。船橋市とも協議したい」と話しました。これにたいして参加者は、「みんなの憩いの場になっているので、予算を確保して進めてほしい」と重ねて要請しました。



閉鎖されて使用できない休憩所



〃武器見本市〃の幕張メッセ開催中止を要請

12月16日、「安保関連法に反対するママの会@ちば」と「幕張メッセでの武器見本市に反対する会」が千葉県にたいして、県



県に求める参加者と丸山慎一氏（右）
とかなみつ理恵氏（左から2人目）。
11月2月16日・県庁内

有施設である幕張メッセを「武器見本市」に使わせないよう求めた要請を行いました。

また幕張メッセは県民の税金でつくられた県有施設であり、地方自治法でこうした施設は、住民福祉の増進が目的とされています（244条）。とても人の命を奪う武器の売買を目的にした「武器見本市」とは両立しません。

ました。

また幕張メッセは県民の税金でつく

幕張メッセでは、2017年以来3回は、住民福祉の増進が目的とされています（244条）。とても人の命を奪う武器の売買を目的にした「武器見本市」とは両立しません。